３／25（火）の発表

報道発表資料の配付日時　３月 25 日（火）14 時 00 分

発表項目（行事名）	**《振興局職員の副業活動》** **令和６年度「ナナイロひだかサポーター制度活動報告書」について**		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	振興局では「ナナイロひだかサポーター制度」を運用し、職員の副業活動などに取り組んできたところですが、本年度の活動について、別添のとおりとりまとめましたので、お知らせします。 記 １　「ナナイロひだかサポーター制度」について 地域・社会貢献活動へ積極的に参加したい振興局職員を任命し、日高地域での副業活動や SNS 等での魅力発信を行う制度で、令和４年度から運用を開始し、本年度で取組３年目となります。 ２　活動状況について ・サポーター登録者数　132 名（前年比＋22 名） ・副業従事者数(実人数)　27 名（前年比－９名） ※昆布の不漁などによる活動日数の減により従事者数も減少 ・活動地域　３地域（前年比＋２地域（様似町・新ひだか町）） ・活動業種　４業種(前年比＋２業種(軽種馬農家・ﾐﾆﾄﾏﾄ農家)) ・マッチング事業者　８事業者（前年比＋１者）		
参考			

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	日高振興局地域創生部地域政策課 地域政策課長　井神　　淳（電話：0146-22-9070） 地域政策係長　上田　大河（電話：0146-22-9073）

令和６年度
ナナイロひだかサポーター制度

活動報告書

令和７年(2025年)３月
日高振興局地域創生部地域政策課

制　度　概　要　①

①背景

・全国的に副業を認める企業や団体が増加

・公務員の副業が認められる環境の整備

・日高地域は**一次産業における働き手不足**が深刻化

地域や社会が抱える課題解決をめざし、道で初めて
令和４年度に「ナナイロひだかサポーター制度」を創設

地域・社会貢献活動へ積極的に参加したい振興局職員を「ナナイロひだかサポーター」として任命し活動を開始

制　度　概　要　②

②地域・社会貢献活動

（１）副　　業　－報酬を得て一次産業に従事－

振興局長の許可を得た職員が、
日高地域の**人手不足に悩む一次産業に報酬を得て従事**することで地域貢献する取組

（２）魅力発信　－「ひだかの魅力」を発信－

日高地域の食・観光地・豊かな自然等の様々な魅力を
ＳＮＳ投稿やイベントを通じて発信することで
関係人口の増加や地域ブランドの確立をめざす取組

制　度　概　要　③

③ねらい

事業者

・繁忙期の労働力確保
・負担減による時間の有効活用

職　員

・新たな地域の実態・魅力発見
・地域社会・住民との新たなつながり

地域に貢献しながら
新たな知見・ネットワークを獲得し
道職員としての価値観の幅を広げる

活 動 実 績

活 動 実 績 ①

活動実績概要（令和６年度）

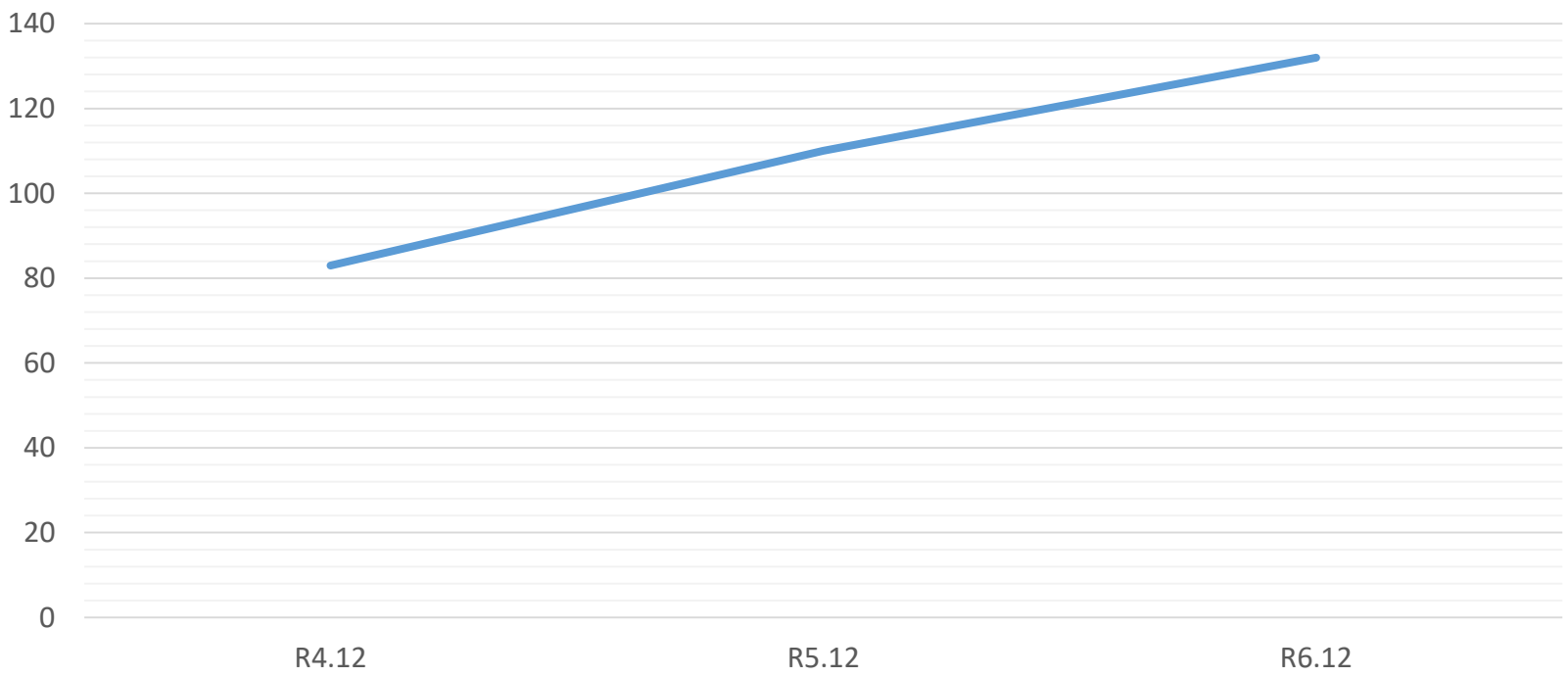
- **サポーター登録者数は132名**（22名増）
  - 制度の浸透に伴い、サポーター登録数は着実に増加
- **副業従事者は27名**（９名減）
  - 昆布の不漁などによる活動日数の大幅減により従事者数は減少
- **３地域で活動**（２地域増）
  - 浦河町のほか様似町、新ひだか町に活動地域を拡大
- **４業種で活動**（２業種増）
  - 夏イチゴ収穫と昆布干しのほか軽種馬生産やミニトマト収穫に活動業種を拡大

活 動 実 績 ②

ナナイロひだかサポーター登録者

110名(R5) → 132名(R６)

22名増



活 動 実 績 ③

副業従事者数

36名(R5) → 27名(R6)

9 名減

-従事内容内訳-

※延べ人数

	R４	R５	R６
夏イチゴの収穫	11名	24名	14名
昆布干し	12名	23名	２名
軽種馬生産	–	–	17名
ミニトマト収穫	–	–	１名

※うち６名（R4）、11名（R5）、６名（R6）は複数事業者に従事

活 動 実 績 ④

活動地域

1町(R5) → 3町(R6)

2町増

-活動地域内訳-

R4・R5	R6
浦河町	浦河町
	様似町
	新ひだか町

活 動 実 績 ⑤

活動業種

２業種(R5) → 4 業種(R6)

２業種増

-活動地域内訳-

R４･R５	R６
夏イチゴの収穫	夏イチゴの収穫
昆布干し	昆布干し
	軽種馬生産
	ミニトマトの収穫

活 動 実 績 ⑥

８事業者とマッチング成立

1 者増

農 業

・いちご農園事業者①（浦河町）

・いちご農園事業者②（浦河町）

・いちご農園事業者③（浦河町）★

・いちご農園事業者④（浦河町）★

・ミニトマト農園事業者①（新ひだか町）★

漁 業

・昆布漁事業者①（様似町）★

軽種馬

・軽種馬生産事業者①（様似町）★

・軽種馬生産事業者②（新ひだか町）★

※★はR6新規事業者

課 題 点

課　題　点　①

事業者ニーズを踏まえた副業開始時期の検討が必要

・７月中旬から副業活動を開始したが夏季に繁忙期を迎える業種が多く、仕事量が下降している業種もあった。

・事業者からは、繁忙期を踏まえ更に早い時期からの活動開始を望む声があった。

課　題　点　②

職員と事業者の更なるマッチングが必要

- 副業活動希望者42名に対して、
  活動を行った者は27名（64.3%）

- 地域貢献活動への意欲がある職員のうち
  活動できていない職員が一定数おり、
  事業者のニーズを踏まえながら
  更なるマッチングを進める必要

今後の取組の方向性

－ひだか地域の課題解決に向けて－

今後の取組の方向性①

副業活動の開始時期の早期化･長期化

・業種により異なる繁忙期に合わせて
活動を開始できるように手続きを開始

・人手不足への対応の一助とするため
副業活動の地域及び業種、期間について、
更なる普及・拡大をめざす

今後の取組の方向性②

サポーター数の増加、実働人数の確保

- 職員向け説明会等を通して、異動者や新規採用、現職員へ更なる制度浸透を図る

- 職員がより副業しやすいよう内容の周知や調整を実施